

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 ダイニック株式会社
 コード番号 3551 URL <http://www.dynic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

(氏名) 細田 敏夫
 (氏名) 卯野 明

TEL 03-5402-3132

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	33,838	—	869	—	708	—	286	—
20年3月期第3四半期	34,557	1.3	1,423	△11.6	1,278	△10.5	745	△10.1
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
21年3月期第3四半期	6.74		—					
20年3月期第3四半期	17.57		—					

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	48,644		10,810		22.2	254.76		
20年3月期	45,251		11,829		26.1	278.44		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,804百万円 20年3月期 11,812百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年3月期	—	—	—	6.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△4.7	1,000	△44.9	750	△50.1	280	△35.8	6.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 0社(社名) 除外 0社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等] 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	42,523,735株	20年3月期	42,523,735株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	114,640株	20年3月期	101,463株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	42,415,405株	20年3月期第3四半期	42,426,188株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年10月24日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成21年3月期の業績予想(連結・個別)は、平成21年2月10日に別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて修正を行っております。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日)におけるわが国の経済は、米国リーマンブラザーズ破綻に端を発した金融危機の影響を大きく受け、株価の下落、急激な円高等により、景気は急速に悪化してまいりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、引き続き収益改善への取り組みを強力に進めてまいりましたが、車輛用途関連業界をはじめ、需要の急減を受け、減収を余儀なくされました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33,838百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益は869百万円(前年同期比39.0%減)、経常利益は708百万円(前年同期比44.6%減)、四半期純利益は286百万円(前年同期比61.7%減)となりました。

事業の種類別セグメントは、次のとおりであります。

当社グループは、出版・情報関連事業(主としてブッククロス、文具紙工品、プリンターリボン、食品包材等の製造販売)および生活・工業用途関連事業(主としてカーペット、壁装材、自動車用内装材、フィルター、接着芯地および医療用パップ剤用フィルム加工等の製造販売)において事業を営んでおります。なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高が含まれております。

出版・情報関連事業

出版・文具紙製品関連部門では、ビニールペーパーやオレフィンフィルム等の文具用製品は堅調に推移したものの、書籍出版表紙材においては減収となりました。

情報関連部門では、主力のプリンターリボンが減収となりました。印刷用途フィルムは増収となりましたが、ビジネスフォーム事業も振るわず、総じてこの部門は減収となりました。

また、その他の部門におきましては、食品包材、蓋材等も減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は16,903百万円(前年同期比4.7%減)、営業利益は863百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

生活・工業用途関連事業

インテリア・住宅関連部門では、新設住宅着工件数の減少など業界不振もあり、壁装材は減収となりました。床材でもイベント用フローカーペットの受注が減少し、この部門は減収となりました。

車輛・工業用途関連部門は、工業用途分野においては脱臭などの機能性不織布フィルターが家電用や自動車用(キャビンフィルター)で増えましたが、車輛用不織布(内装材)は減収となりました。また、フレキシブルコンテナなどの重布やレザー製品は堅調に推移したものの、この部門は減収となりました。

ファンシー商品・その他の部門におきましては、ファンシー商品をはじめ、食品鮮度保持剤におきましては比較的堅調に推移いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は17,508百万円(前年同期比1.2%増)、営業利益は536百万円(前年同期比32.8%減)となりました。

※ 定性的情報における前年同四半期増減率は、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3,394百万円増加し、48,644百万円となりました。これは主に流動資産の現金及び預金が1,805百万円、受取手形及び売掛金が2,111百万円増加し、投資有価証券が870百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して4,413百万円増加し、37,835百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,438百万円、短期借入金が3,045百万円、長期借入金が1,200百万円増加し、貸借取引担保金が911百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して1,020百万円減少し、10,810百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が676百万円、為替換算調整勘定が285百万円それぞれ減少したことによるものであります。

キャッシュ・フローについては以下のとおりです。

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益615百万円の計上に加え減価償却費800百万円、仕入債務の増加1,615百万円に対し、売上債権の増加2,301百万円、たな卸資産の増加421百万円、そして法人税等の支払567百万円などにより296百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入による支出332百万円、有形固定資産の取得による支出603百万円、投資有価証券の取得による支出260百万円により、1,171百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額3,135百万円、長期借入金の純増額1,242百万円に対して、配当金の支払額255百万円、貸借取引契約による支出911百万円などにより3,084百万円の収入となりました。

この結果当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、3,789百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月24日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました平成21年3月期の業績予想(連結・個別)を修正しております。

詳細は平成21年2月10日に別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸しを省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第14号)」を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を第1四半期連結会計期間から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,121,658	2,316,830
受取手形及び売掛金	11,634,213	9,523,471
商品及び製品	4,043,037	3,970,174
仕掛品	1,020,978	950,765
原材料及び貯蔵品	2,186,069	2,099,112
繰延税金資産	473,696	485,338
その他	481,840	464,600
貸倒引当金	△102,381	△138,851
流動資産合計	23,859,110	19,671,439
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,106,893	14,160,445
減価償却累計額	△9,755,340	△9,545,989
建物及び構築物(純額)	4,351,553	4,614,456
機械装置及び運搬具	22,375,218	22,510,008
減価償却累計額	△19,946,224	△20,018,618
機械装置及び運搬具(純額)	2,428,994	2,491,390
工具、器具及び備品	2,637,867	2,616,087
減価償却累計額	△2,368,495	△2,325,700
工具、器具及び備品(純額)	269,372	290,387
土地	11,791,492	11,799,986
建設仮勘定	236,030	82,855
有形固定資産合計	19,077,441	19,279,074
無形固定資産		
のれん	17,848	14,974
その他	71,769	70,636
無形固定資産合計	89,617	85,610
投資その他の資産		
投資有価証券	4,349,944	5,220,158
長期貸付金	51,978	57,877
繰延税金資産	550,220	213,043
その他	855,339	881,139
貸倒引当金	△189,216	△157,438
投資その他の資産合計	5,618,265	6,214,779
固定資産合計	24,785,323	25,579,463
資産合計	48,644,433	45,250,902

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,542,030	9,103,784
短期借入金	12,372,648	9,327,792
1年内償還予定の社債	—	125,000
未払法人税等	48,422	340,628
貸借取引担保金	1,873,184	2,784,272
賞与引当金	325,334	2,253
役員賞与引当金	38,299	60,550
設備関係支払手形	293,411	146,362
その他	1,102,549	1,487,913
流動負債合計	26,595,877	23,378,554
固定負債		
長期借入金	4,936,922	3,737,406
繰延税金負債	57,761	62,433
再評価に係る繰延税金負債	1,716,609	1,716,609
退職給付引当金	3,992,931	3,957,527
役員退職慰労引当金	175,783	184,266
環境対策引当金	78,600	78,600
その他	280,386	306,207
固定負債合計	11,238,992	10,043,048
負債合計	37,834,869	33,421,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	944,696	944,696
利益剰余金	3,072,193	3,116,456
自己株式	△26,778	△24,241
株主資本合計	9,785,762	9,832,562
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△717,039	△41,144
土地再評価差額金	2,386,364	2,386,364
為替換算調整勘定	△651,053	△365,759
評価・換算差額等合計	1,018,272	1,979,461
少数株主持分	5,530	17,277
純資産合計	10,809,564	11,829,300
負債純資産合計	48,644,433	45,250,902

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	33,838,188
売上原価	27,111,807
売上総利益	6,726,381
販売費及び一般管理費	5,857,772
営業利益	868,609
営業外収益	
受取利息	15,693
受取配当金	77,717
受取賃貸料	145,410
雑収入	119,238
営業外収益合計	358,058
営業外費用	
支払利息	227,988
為替差損	44,839
雑損失	246,046
営業外費用合計	518,873
経常利益	707,794
特別利益	
固定資産売却益	3,347
投資有価証券売却益	3,166
特別利益合計	6,513
特別損失	
固定資産処分損	12,723
固定資産売却損	410
投資有価証券評価損	79,834
その他	6,067
特別損失合計	99,034
税金等調整前四半期純利益	615,273
法人税等	332,875
少数株主損失(△)	△3,345
四半期純利益	285,743

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	615,273
減価償却費	799,748
その他の償却額	2,534
のれん償却額	5,492
賞与引当金の増減額 (△は減少)	323,081
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,251
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	39,933
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,789
受取利息及び受取配当金	△93,410
支払利息	227,988
為替差損益 (△は益)	6,326
持分法による投資損益 (△は益)	△6,156
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,166
投資有価証券評価損益 (△は益)	79,834
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,937
有形固定資産処分損益 (△は益)	12,723
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,300,957
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△420,608
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,615,265
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△35,210
その他	△422,423
小計	417,385
利息及び配当金の受取額	103,554
利息の支払額	△250,132
法人税等の支払額	△567,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	△296,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△332,400
定期預金の払戻による収入	50,500
有形固定資産の取得による支出	△603,408
有形固定資産の売却による収入	8,680
無形固定資産の取得による支出	△4,730
投資有価証券の取得による支出	△260,186
投資有価証券の売却による収入	6,925
子会社株式の取得による支出	△10,396
貸付金の回収による収入	5,899
その他	△31,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,170,571

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,134,674
長期借入れによる収入	3,325,000
長期借入金の返済による支出	△2,082,941
社債の償還による支出	△125,000
自己株式の取得による支出	△2,537
配当金の支払額	△254,534
貸借取引契約による支出	△911,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,083,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93,876
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,522,928
現金及び現金同等物の期首残高	2,266,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,789,258

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,720,134	17,118,054	33,838,188	—	33,838,188
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	182,657	389,663	572,320	(572,320)	—
計	16,902,791	17,507,717	34,410,508	(572,320)	33,838,188
営業利益	862,787	536,389	1,399,176	(530,567)	868,609

(注) 1 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、フィルムコーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート
	その他	容器密封用アルミ箔、複合フィルム
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車輛工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	27,817,257	6,020,931	33,838,188	—	33,838,188
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,710,246	1,313,772	3,024,018	(3,024,018)	—
計	29,527,503	7,334,703	36,862,206	(3,024,018)	33,838,188
営業利益	1,311,231	45,504	1,356,735	(488,126)	868,609

- (注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
ただし、各区分に属する売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- | | |
|--------|------------------------|
| その他の地域 | 北米……………アメリカ |
| | ヨーロッパ……………イギリス |
| | 中国……………中国 |
| | 東南アジア……………香港・台湾・シンガポール |

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	東南アジア	その他地域	計
海外売上高 (千円)	2,146,717	4,478,750	6,625,467
連結売上高 (千円)	—	—	33,838,188
連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	6.4	13.2	19.6

- (注) 1 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
- 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
- | |
|------------------------|
| 東南アジア……………香港・台湾・シンガポール |
| その他地域……………アメリカ・イギリス・中国 |
- 3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(要約)四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	34,557,071
II 売上原価	27,287,671
売上総利益	7,269,400
III 販売費及び一般管理費	5,846,062
営業利益	1,423,338
IV 営業外収益	(368,396)
1. 受取利息	21,269
2. 受取配当金	72,759
3. その他	274,368
V 営業外費用	(513,382)
1. 支払利息	249,762
2. その他	263,620
経常利益	1,278,352
VI 特別利益	(37,293)
1. 投資有価証券売却益	32,777
2. 固定資産売却益	4,516
VII 特別損失	(48,936)
1. 固定資産処分損	47,928
2. 固定資産売却損	1,008
税金等調整前 四半期純利益	1,266,709
税金費用	526,026
少数株主利益 (△損失)	△4,786
四半期純利益	745,469

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,266,709
減価償却費	833,933
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 4,972
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)	△ 179
貸倒引当金の増減額(減少:△)	26,545
受取利息及び受取配当金	△ 94,028
支払利息	249,762
売上債権の増減額(増加:△)	△ 2,729,788
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 54,291
仕入債務の増減額(減少:△)	216,993
その他の営業活動	△ 286,630
小計	△ 575,946
利息及び配当金の受取額	106,875
利息の支払額	△ 260,945
法人税等の支払額	△ 758,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,488,930
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 575,351
有形固定資産の売却による収入	8,096
投資有価証券の取得による支出	△ 535,449
投資有価証券の売却による収入	32,825
その他の投資活動	85,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 983,902
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純増減額(減少:△)	4,806,671
長期借入金による収入	1,030,000
長期借入金の返済による支出	△ 2,285,175
社債の償還による支出	△ 125,000
配当金の支払額	△ 254,583
その他	136,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,308,812
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9,689
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	826,291
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,560,150
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,386,441

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)

	出版・情報 関連 (千円)	生活・ 工業用途関連 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,595,617	16,961,454	34,557,071	—	34,557,071
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	143,604	344,217	487,821	(487,821)	—
計	17,739,221	17,305,671	35,044,892	(487,821)	34,557,071
営業利益	1,088,718	798,528	1,887,246	(463,908)	1,423,338

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分の方法は、市場別に、「出版・情報関連」、「生活・工業用途関連」事業としてセグメントしております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	売上区分	主要取扱商品
出版・情報関連	出版・文具紙製品	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、文具紙工品、パッケージ用化粧クロス、容器密封用アルミ箔、複合フィルム
	情報関連	銀行通帳用クロス、コンピューターリボン、ファイン・フィルム・コーティング品、名刺プリンター、表示ラベル用素材、磁気関連商品、有機EL用水分除去シート
生活・工業用途関連	インテリア・住宅関連	カーペット、壁装材、天井材、ブラインド
	車両工業用途	自動車内装用不織布・カーペット、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、フィルター
	衣料用途	接着芯地、不織布
	ファンシー商品他	キャラクター商品、縫製加工・成型加工・ウェルダー加工等の各種加工品、耐久性折目加工材、ノウハウの販売、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤
	運送、製造・加工他	商品等運送業、製品製造・加工

【所在地別セグメント情報】

前年同四半期 (平成20年3月期第3四半期)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益					
(1) 外部顧客に対する売上高	28,005,307	6,551,764	34,557,071	—	34,557,071
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,017,379	1,292,932	3,310,311	(3,310,311)	—
計	30,022,686	7,844,696	37,867,382	(3,310,311)	34,557,071
営業利益	1,769,892	188,710	1,958,602	(535,264)	1,423,338

(注) 1. 本邦以外の国又は地域の区分は地理的近接度によっております。

ただし、各区分に属する売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計の10%未満のため、「その他の地域」として一括して記載しております。

2. 本邦以外の区分に属する国または地域

その他の地域 北米……………アメリカ
ヨーロッパ……………イギリス
中国……………中国
東南アジア……………香港・台湾・シンガポール